

令和元年度

事業報告書

公益財団法人 やまぐち産業振興財団

令和元年度事業報告書 目次

I	概況	1
II	実施事業の概要	2
1	管理運営	2
	(1) 理事会	
	(2) 評議員会	
	(3) 賛助会員	
	(4) 監査	
	(5) 基金	
	(6) 役職員の状況	
2	経営課題に係る相談・支援	4
	ア 中小企業等総合相談事業	
	(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）	
	(2) 総合相談体制整備事業	
	(3) 経営・技術診断助言事業	
	イ 中小企業再生支援・事業引継ぎ支援事業	
	(1) 中小企業再生支援協議会事業	
	(2) 経営改善支援センター事業	
	(3) 事業引継ぎ支援センター事業	
	ウ 事業承継・世代交代集中支援事業	
	(1) プッシュ型事業承継支援高度化事業	
3	経営・技術等に係る情報の収集・提供及び情報化の支援	8
	ア 情報収集・提供事業	
	(1) 情報提供事業	
	(2) 企業支援情報整備事業	
	イ 中小企業等の情報化促進事業	
	(1) 情報化促進事業	
4	経営・技術等の人材育成	8
	ア 経営・技術等の人材育成事業	
	(1) 科学技術普及啓発事業	
	(2) 経営意識向上研修事業	
	(3) 経営管理・技術研修事業	
	(4) 産業人材創造事業	
	(5) やまぐちOB人材バンク事業	

5 設備投資の支援	19
ア 設備貸与事業	
(1) 小規模企業者等設備貸与事業	
(2) 新事業活動支援設備貸与事業	
(3) 旧設備資金貸付事業等に係る債権管理	
6 創業及び事業化の促進	20
ア 製品等の評価(目利き)に関する事業	
(1) やまぐちビジネスプラン評価推進事業	
イ 創業・事業化支援コーディネート事業	
(1) 県内創業・事業承継促進事業	
(2) ふるさとやまぐち起業家づくり支援事業	
(3) 創業補助金フォローアップ事業	
ウ 中小企業等投資支援事業	
(1) ベンチャー企業支援事業	
(2) ファンド投資支援事業	
7 販路開拓の支援	27
ア 下請取引あっせん事業	
(1) 下請取引あっせん事業	
イ 販路開拓・販路拡大促進事業	
(1) 環境関連製品販路開拓事業	
(2) 販路開拓支援事業	
(3) 航空機・宇宙機器産業参入促進事業	
(4) 海外展開総合支援事業	
(5) 中小企業スマートビジネス推進事業	
(6) やまぐち頑張る企業応援プロジェクト事業	
8 技術研究開発等の支援	37
ア 新製品の研究開発等に関する助成等事業	
(1) 中小企業活力向上促進事業	
(2) メカトロ技術センター運営事業	
(3) 債務保証事業	
9 技術交流・技術移転の促進	39
ア 知財活用支援事業	
(1) 知財総合支援窓口運営事業	
(2) 中小企業等知財支援事業	
(3) 中小企業等外国出願支援事業	
事業報告の附属明細書	41

I 概 況

令和元年度、国内経済では、前半は緩やかな景気の回復とされていましたが、12月頃に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、後半は景気が急速に悪化し、先行きについても極めて厳しい状況にあると予想され、県内中小企業への更なる影響が心配されるところです。

こうした中、山口県では「やまぐち維新プラン」の基本目標である「活力みなぎる山口県」の実現を目指し、各施策を推進されております。新型コロナウイルス感染症が発生した後は、制度融資における新たな資金の創設や、相談窓口を設置等、県内企業の営業維持や発展のための支援にも取り組まれています。

当財団では、県の施策と連携しながら、県内全域を対象に経営革新や販路開拓、新分野進出、技術開発など、中小企業の発展・成長段階に応じた総合的な支援を実施してまいりました。

また、新型コロナウイルス関連の経営相談や在宅勤務・テレワークの相談窓口を設置し、相談対応を行っているところです。

1 主な支援内容

(1) 生産性向上と産業人材創造の一体的支援

「生産性向上・人材創造拠点」にカンファレンスチームを設置し、製品等高付加価値化に向けた補助金や、営業・販売力の省力化に向けた補助金などの各種支援をハンズオンで実施しました。また、企業をリードする中核人材を育成するため、ワークショップ形式を取り入れながら、「企業経営・経営戦略」など分野別の研修会を実施しました。

(2) 海外展開支援への新たな取り組み

県内中堅・中小企業の海外展開へのニーズに対応するため、「海外展開支援拠点」にコーディネータを配置し、助成金や海外展示会出展等、企業の事業展開に応じた支援を実施しました。

(3) 事業承継支援のさらなる拡充

「創業・事業承継サポートセンター」を新たに設置し、「事業引継センター」と連携したセミナーの実施など、事業承継支援の更なる拡充を行いました。

2 経営基盤の安定

財団の経営基盤を安定させ継続的に事業運営を行うため、財源の確保対策や物件費の削減に努めるとともに、経費充当財源となる国等の事業に取り組みました。

以下、具体的事業内容について報告いたします。

Ⅱ 実施事業の概要

1 管理運営

(1) 理事会

区 分	開催日	場 所	議 事
令和元年度 第1回理事会	令和元年 5月28日 (火)	山口市 セント コア山口	(報告) ・平成30年度業務執行状況報告 ・第三期中期経営計画進捗状況報告 ・財団事務所の移転について ・海外展開支援の取組指針 (議案) ・平成30年度事業報告書及び収支決算書について ・第四期中期経営計画の策定について
令和元年度 第2回理事会	令和2年 3月24日 (火)	山口市 翠山荘	(報告) ・令和元年度業務執行状況報告 ・財団事務所の移転について (議案) ・令和元年度収支予算の補正について ・令和2年度基金の処分について ・令和2年度事業計画及び収支予算について ・令和2年度資金の借入について ・令和2年度組織変更と規程変更について

(2) 評議員会

区 分	開催日	場 所	議 事
令和元年度 評議員会	令和元年 6月27日 (木)	山口市 翠山荘	(報告) ・平成30年度業務執行状況報告について ・平成30年度事業計画書及び収支予算書について ・第三期中期経営計画進捗状況について ・令和元年度事業計画及び収支予算書について ・財団の事務所移転について

(3) 賛助会員

当財団の事業の維持・強化を図るため、賛助会員制度(年会費1万円)を設けており、令和元年度は、335社の加入があった。

(4) 監査

監事監査

日 時 令和2年5月18日(月)13:30~15:00

事 項 令和元年度事業報告及び決算報告

(5) 基金

令和2年3月31日現在における財団の基金の額は、次のとおりである。

① 基金区分別

(単位：千円)

基金区分	出 捐 金	剰余金繰入額	合 計
1 基本財産	522,540	70,513	593,053
2 債務保証基金	72,350	38,291	110,641
3 研修指導・調査研究基金	544,360	0	544,360
4 研究開発助成基金	186,800	0	186,800
5 地域科学技術振興基金	502,000	0	502,000
合 計	1,828,050	108,804	1,936,854

② 出捐者区分別

(単位：千円)

区 分	金 額	割 合	
県	962,000	49.7%	
市 町 村	324,550	16.7%	
民 間	テクノ圏域内	302,000	15.6%
	テクノ圏域外	239,500	12.4%
	小 計	541,500	28.0%
剰 余 金	108,804	5.6%	
合 計	1,936,854	100.0%	

(6) 役職員の状況

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収
11名(1名)	62.5歳	481千円
職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収
28名(3名)	50.6歳	4,460千円

2 経営課題に係る相談・支援

ア 中小企業等総合相談事業

(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(よろず支援拠点)

中小企業・小規模事業者が抱えるあらゆる悩みに対応するため、具体的なアドバイスや支援機関等との連携促進を行う「山口県よろず支援拠点」を平成26年に設置。

令和元年度はチーフコーディネータ及び10名のコーディネータが、既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対し、「専門性の高いアドバイス」、事業者の課題に応じた適切な「チーム編成を通じた支援」、「地域の支援機関の紹介」、「継続的なフォローアップ」等の支援を行った。

全国本部が毎年実施する「活動実績ランキング」では、全国6位（H30年度10位）となった。

(ア) 相談の状況

相談対応件数は、対前年比で約1.64倍の8,514件となった。内訳は、①IT（情報発信）に関する相談が24.9%で最も多く、販路拡大のためのSNS活用やECサイト導入支援等の相談があった。次いで②施策活用（ものづくり補助金、創業補助金の書き方支援等）12.7%、③経営知識9.8%、④広告デザイン（ブランディング、ロゴ・チラシ等の制作支援）9.6%の相談割合となっている。

また、雇用労務（求人票、働き方改革）は、昨年度の約6.5倍の相談があり、相談内容の多くが人手不足に係る課題についてであった。

対応件数	平成30年度	令和元年度
相談対応件数	5,183件	8,514件
来訪件数	2,088件	3,737件
課題解決件数	280件	694件

相談内容	相談対応件数 (平成30年度)	相談対応件数 (令和元年度)	割合 (令和年度)
IT(情報発信)	971	2,116	24.9%
施策活用	1,035	1,083	12.7%
経営知識	565	837	9.8%
広告デザイン	290	821	9.6%
雇用労務	85	560	6.6%
販路提案	463	473	5.6%
広報戦略	334	395	4.6%
IT(内部管理)	48	386	4.5%
商品開発	204	381	4.5%
商品デザイン	89	372	4.4%

事業計画策定	334	322	3.8%
資金繰り	258	260	3.1%
現場改善・生産性向上	127	162	1.9%
市場設定	180	145	1.7%
法律	59	51	0.6%
知的財産	30	39	0.5%
事業連携	1	38	0.4%
海外展開	2	25	0.3%
市場調査	42	19	0.2%
地域資源活用	2	19	0.2%
その他	64	10	0.1%
計	5,183	8,514	100.0%

(イ) 相談者の業種別内訳

相談企業数は、1,219事業者となり対前年比約1.3倍、業種別にみると①サービス業（美容業、エステ、クリーニング、整体・整骨等）30.5%、②製造業17.2%、③小売業11.0%、④宿泊業・飲食業10.3%、⑤建設業8.5%となっている。

業種	相談者数 (平成30年度)	相談者数 (令和元年度)	割合
サービス業	210	372	30.5%
製造業	236	210	17.2%
小売業	91	134	11.0%
宿泊業・飲食業	73	125	10.3%
建設業	88	104	8.5%
農業・漁業・林業	42	49	4.0%
卸売業	42	41	3.4%
医療・福祉	29	37	3.0%
情報通信業	14	17	1.4%
運輸業	25	10	0.8%
金融業・保険業	6	10	0.8%
生活関連サービス業、娯楽業	7	3	0.2%
サービス業(他に分類されないもの)	4	2	0.2%
不動産業、物品賃貸業	1	1	0.1%
教育、学習支援事業	0	1	0.1%
その他	42	103	8.5%
計	910	1,219	100.0%

(ウ) 新型コロナウイルス感染症に係る経営相談

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、山口県よろず支援拠点内に経営相談窓口を設置した。

・相談窓口設置日：令和2年1月30日

相談件数	相談内容				
	受注減 (製造業)	売上減 (イベント等中止)	原材料等 入手困難	労務管理	その他
90	5	62	2	6	15

※相談件数は、前述の「(ア)相談の状況」に含まれる。

(2) 総合相談体制整備事業

中小企業等に対する支援施策を一貫して管理するため、総合経営支援部長をプロジェクトマネージャーとし、同部職員4名をサブマネージャーとして配置し、よろず支援拠点と連携して、相談・助言・情報提供・支援機関の紹介などを行った。

(ア) 情報提供事業

中小企業及び商工関係団体等に役立つ情報を収集・創出し、ホームページで随時情報提供を行った。

(イ) 企業支援情報整備事業

中小企業等への指導・支援内容等をデータベース化し、財団内での情報の共有化を図り、中小・ベンチャー企業等にきめ細かい総合的な支援を行うための企業カルテシステムの管理・運営を行った。

・現在の登録企業数：10,316社

(3) 経営・技術診断助言事業

創業者や経営の向上を図る中小企業が抱える種々の問題に対して、民間の専門家を派遣し、個別に支援を行った。

・派遣企業数：8企業

・派遣回数：49回

・主な支援要請内容：新製品開発支援、人材育成支援、販路開拓支援、技術指導
経営改善計画支援等

(ア) 専門家派遣企業審査選定委員会

専門家派遣企業審査選定委員会を開催し、経営の向上を図る中小企業等の求めに対して、経営、技術、情報化等に係る診断・助言を行う専門家派遣の適否についての審査を行った。

委員会開催状況

・開催回数：7回

・派遣申請数：9企業

・派遣決定数：9企業（決定後中止企業：1）

イ 中小企業再生支援事業・事業引継ぎ支援事業

(1) 中小企業再生支援協議会事業

中小企業の経営破綻を未然に防止するため、「山口県中小企業再生支援協議会」を設置し、中小企業に対する相談対応並びに、新規事業分野への転換、販路開拓、合理化によるコスト削減等を目的とする再生計画策定支援等を行うことにより、中小企業の再生を支援した。

(ア) 支援業務部門

統括責任者としてプロジェクトマネージャー1名、これを補佐する統括責任者補佐として金融機関からの現役出向者1名を含むサブマネージャー4名、事務職員2名の計7名の体制にて、個別の事案に対応した再生支援を行った。

(イ) 事業実績等

新規相談企業数	51企業(第一次対応、累計663企業)
相談延べ件数	165件(第一次対応、累計3,602件)
再生計画策定支援完了企業数	18企業(第二次対応、累計275企業)
雇用確保数	566名(累計8,133名)
バンクミーティング開催回数	二次対応移行バンクミーティング 16回(持ち回り含む) 計画策定完了バンクミーティング 17回(持ち回り含む)

(2) 経営改善支援センター事業

再生支援協議会内に「山口県経営改善支援センター」を設置し、センター長1名、専門相談員2名、事務職員1名により、経営革新等支援機関の中小企業への経営改善計画及び早期経営改善計画の策定支援に要する費用の一部負担を行い、中小企業の経営改善・事業再生を促進した。

- ・経営改善計画策定支援利用申請件数 49件
- ・早期経営改善計画策定支援利用申請件数 20件

(3) 事業引継ぎ支援センター事業

前年度と同様に統括責任者1名、専門相談員6名の体制であったが、新たに税理士を専門相談員とし、相談内容の充実を図った。

実績については、以前の相談先へのアプローチを積極的に行ったことやきめ細かい相談対応を行ったことから、相談件数、譲渡案件数については目標を達成した。成約件数については、目標は達成できなかったが、初の外部専門機関による成約や大型案件の成約等充実したものとなった。

- ・相談件数 : 977件 (目標比 +377件)
- ・譲渡案件数 : 92件 (目標比 +3件)
- ・成約件数 : 21件 (目標比 ▲8件)

ウ 事業承継・世代交代集中支援事業

(1) プッシュ型事業承継支援高度化事業

平成 29 年度より「山口県事業引継ぎ支援センター」において、事業引継ぎ支援事業と兼務で運営しており、県内の各市町村、商工会議所、商工会、金融機関、経済関係団体計 61 機関が構成機関となり、事業承継を推進している。

6 月のネットワーク会議で決議した事業承継支援戦略に基づき、県内を 4 ブロックに区分し、担当のコーディネータを中心に各構成機関と連携し、セミナーの開催、個別相談の実施、広報活動等を実施した。

- ・事業承継診断件数 : 1,317 件 (目標比 ▲183 件)
- ・承継計画書策定件数 : 17 件 (目標比 ▲14 件)

※事業承継診断数は一部、3 月分が未集計。

3 経営・技術等に係る情報の収集・提供及び情報化の支援

ア 情報収集・提供事業

- (1) 情報提供事業【再掲 6 頁】 (総合相談体制整備事業で実施)
- (2) 企業支援情報整備事業【再掲 6 頁】 (総合相談体制整備事業で実施)

イ 中小企業等の情報化促進事業

- (1) 情報化促進事業【後掲 10 頁】 (経営管理・技術研修事業で実施)

4 経営・技術等の人材育成

ア 経営・技術等の人材育成事業

(1) 科学技術普及啓発事業

(ア) ジュニア科学教室

21 世紀を担う青少年に広く科学技術に触れあう場を提供する「夏休みジュニア科学教室」の開催を支援した。定員の約 3 倍の申込みがあった。

- ・開催回数：17 回
- ・開催場所：7 市 (宇部市、岩国市、周南市、山口市、山陽小野田市、長門市、下関市)
- ・主催：夏休みジュニア科学教室実行委員会
(事務局：(公財)やまぐち産業振興財団)

開催日	場所	参加者数	内容・協力機関
令和元年 7月21日 (日)	周南市	19	泡の出る入浴剤を作ってみよう！ ・東ソー株式会社健保体育館
令和元年 7月24日 (水)	岩国市	21	液状化現象について学ぼう！ ・帝人株式会社岩国開発センター
令和元年 7月25日 (木)	山陽小野田市	16	コマづくりに挑戦！！ ・山陽小野田市立山口東京理科大学
令和元年 7月26日 (金)	岩国市	20	半透膜を使った浸透の実験 ・東洋紡株式会社岩国事業所
令和元年 7月27日 (土)	周南市	14	塩化カルシウムの化学 ・株式会社トクヤマ文化体育館
令和元年 7月31日 (水)	岩国市	18	プログラムでロボットカーを動かそう ・旭興産株式会社岩国工場
令和元年 8月1日 (木)	宇部市	19	熱と光に関わる不思議な現象を体験しよう！ ・セントラル硝子株式会社化学研究所
令和元年 8月2日 (金)	宇部市	27	お薬ができるまで ・協和キリン株式会社宇部工場
令和元年 8月7日 (水)	宇部市	43	スクイーク (Squeak) でプログラムを作ってみよう！ ・山口大学工学部
令和元年 8月8日 (木)	宇部市	25	脳はウソつき？！自分の脳にダマされてみよう ・宇部フロンティア大学
令和元年 8月9日 (金)	下関市	23	速く走る船を作ろう ・三菱重工業株式会社下関造船所
令和元年 8月11日 (土)	山口市	23	工作で体験する「√」(ルート)の世界 ・山口大学就職支援施設 OHARA (大原)
令和元年 8月18日 (日)	宇部市	19	セメントでフィギュアを作ろう ・宇部興産株式会社技術開発研究所
令和元年 8月22日 (木)	宇部市	17	廃ガラスを用いた光を蓄えて光るガラスセラミックスの作製 ・(地独) 山口県産業技術センター
令和元年 8月23日 (金)	長門市	17	永久コマを作ってみよう！ ・長門市中央公民館 (三菱電機株式会社)
令和元年 8月24日 (土)	山口市	17	気象のおもしろ実験 ・山口大学農学部
令和元年 8月27日 (火)	宇部市	14	ヒトのからだのしくみを知ろう ・山口大学医学部
参加人数計		352	

※予定していた7/20 中国電力株式会社柳井発電所(柳井市)、8/6 徳山工業高等専門学校(周南市)は台風のため中止となった。

(イ) 県内小学生向け副読本「山口県の工業」の改訂

山口県の工業の状況や歴史等について、分かりやすくまとめた副読本の改訂を行った。

(ウ) 青少年育成事業

青少年の創造力育成を目的として、県下7つの少年少女発明クラブによる「山口県少年少女発明クラブ活動推進協議会」の運営を支援した。

○会議等の開催状況

- ・協議会開催：1回(平成31年4月24日)
- ・担当者会議開催：2回(令和元年5月30日、12月10日)

(2) 経営意識向上研修事業

企業経営における経営意識の向上を目的に、知的財産に関する知識習得と県内優良企業の独自の取り組みを紹介するため、工場見学会を開催した。

また、中小企業の会計に関する意識の向上を図る啓発セミナーを実施した。

内 容	工場見学
開 催 日 時	令和2年1月27日(月)10:30~15:30
場 所	株式会社木原製作所(山口市) 積水ハウス株式会社山口工場(山口市)
参 加 者 数	34人

内 容	中小企業会計啓発・普及セミナー
開 催 日 時	令和2年2月12日(水)13:00~16:00
場 所	セントコア山口(山口市)
参 加 者 数	14名

(3) 経営管理・技術研修事業

経営環境の変化に対応した経営システム構築ができる経営者を育てること、企業の技術レベルを支える優れた技術者・技能者を育てることを目的として経営、技術に関する研修会を開催した。

名称・開催日	会 場	受講者数
プレゼンテーション能力向上セミナー 令和元年5月23日(木)	翠山荘(山口市)	13名
ECセミナー「デジタルマーケティング実践」 令和元年7月25日(木)	翠山荘(山口市)	18名
生産性向上セミナー 令和元年12月6日(金)	翠山荘(山口市)	23名

(4) 産業人材創造事業

本県産業力の強化に向けて、「産業人材」の観点からコーディネータ 2 名を配置し、人材創造に係る支援体制を構築するとともに、人材の育成・強化に係る研修等を実施した。研修後のアンケート調査にて、研修の満足度は 88%であった。

(ア) 中核人材育成研修等の実施

○経営研修

(a) 「経営者・経営幹部のための財務会計セミナー」

内 容	自社の財務分析の具体的方法と経営の活かし方、資金繰りやキャッシュフロー経営について、実例を通じて黒字経営実現の具体策を実践的に学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年7月25日(木) 「財務分析の基礎、実数分析の基礎、資金繰りの基礎、キャッシュ・フロー経営」 第2回 令和元年7月26日(金) 「黒字経営が必要な理由、黒字経営の事前準備、黒字経営と成長戦略、黒字経営と経営計画、自社経営計画の作成」
場 所	山口県セミナーパーク(山口市)
参加者数	11名

(b) 「経営研修(8月コース)」

内 容	次の時代の経営戦略の変化に対応できる経営スキルを実践的に学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年8月1日(木) 「経営の基本と戦略思考、経営戦略策定のカンファレンス」 第2回 令和元年8月8日(木) 「顧客満足としくみで考えるマーケティング、自社の経営戦略カンファレンス」
場 所	山口市創業応援スペース「mirai365」(山口市)
参加者数	7名

(c) 「経営研修(10月コース)」

内 容	働き方改革の時代の職場活性化と部下育成の実践スキルを学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年10月16日(水) 「職場活性化の進め方、部下の問題を発見するスキル」 第2回 令和元年10月24日(木) 「部下が伸びるスキル、職場活性化の実践計画とカンファレンス」
場 所	山口市創業応援スペース「mirai365」(山口市)
参加者数	10名

(d) 「10年先までの経営デザインセミナー」

内 容	社長のナンバー2の必要性や10年後の経営ビジョンを考え、実際に経営デザインの作成をワークショップ等により学ぶ
開催テーマ	令和2年2月13日(木) 「企業には大番頭・ナンバー2が必要、なぜ10年先までの経営ビジョンを描くのか」
場 所	翠山荘(山口市)
参加者数	23名

○管理研修

(a) 「ものづくり生産性向上研修」

内 容	生産・納期管理、品質管理手法等の習得に向けて、管理を理解し、問題解決のステップ等を学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年9月7日(土) 「ものづくり現場の問題の捉え方、問題解決プロセス、ものづくり現場の現場の生産性向上の進め方」 第2回 令和元年9月21日(土) 「問題解決プロセス、ものづくり現場の問題の生産性向上の進め方」 第3回 令和元年10月12日(土) 「問題解決プロセス、ものづくり現場の問題の生産性向上」 第4回 令和元年11月9日(土) 「ものづくり現場の生産性向上」
場 所	山口市創業応援スペース「mirai365」(山口市)
参加者数	17名

○技術研修

(a) 「化学工学入門講座」

内 容	身近な現象を化学工学の基礎と関連付けながら説明し、化学用語の解説を加えながら講義と演習により化学工学の素養を身に付ける
開催テーマ	第1回 令和元年7月22日(月) 「湿度計から始める伝熱の基礎、燃焼の理解から学ぶ反応とモル、単位から始める流動の基礎」 第2回 令和元年7月23日(火) 「物質の出入りを把握する物質収支、現象の本質を捉えるデータ処理」
場 所	デザインプラザHOFU(防府市)
参加者数	24名

(b) 「高圧ガス保安入門講座」

内 容	高圧ガス製造設備を安全に取り扱うための基礎知識や保安法令に関する事項を学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年9月5日(木) 「気体の性質と熱力学の基礎、熱力学の第一法則、コンプレッサーの理論と構造、コンプレッサーの運天およびトラブル対策」 第2回 令和元年9月6日(金) 「高圧ガス保安法の概略、高圧ガスの取扱方法に対する規制、製造施設の技術上の基準、製造の方法の技術上の基準」
場 所	デザインプラザHOFU (防府市)
参加者数	29名

(c) 「体験型安全教育講座」

内 容	プラント現場における安全行動・安定操業に向けた体験型学習
開催テーマ	令和元年10月18日(金) 「講義(ヒューマンエラー)、実習(挟まれ、巻き込まれ、高所・飛来落下、感電、静電気爆発、粉塵爆発他)」
場 所	株式会社トクヤマ 技術教育訓練センター (周南市)
参加者数	15名

(d) 「事故事例からのプラント安全講座(中小企業向け)」

内 容	化学プラント事故の未然防止に向けたグループワーク
開催テーマ	令和2年2月19日(水) 「講義、グループ討議」
場 所	山口大学常盤キャンパス 「志」イノベーション道場(宇部市)
参加者数	6名

(e) 「事故事例からのプラント安全講座(2日間コース)」

内 容	化学プラント事故の未然防止に向けたグループワーク
開催テーマ	令和2年2月20日(木) 「講義、グループ討議、安全教育室見学」 令和2年2月21日(金) 「講義、事故事例とグループ討議、振り返り」
場 所	山口大学常盤キャンパス 「志」イノベーション道場(宇部市)
参加者数	9名

(f) 「技術戦略入門講座」

内 容	技術を効果的に活用して経営を行うための理論と実践方法を学ぶ
開催テーマ	令和元年 11 月 11 日 (月) 「技術戦略とは何か、戦略スコープを選定してみよう、戦略プロポーザルを作ってみよう」
場 所	翠山荘 (山口市)
参加者数	15 名

(イ) 高度産業人材の育成支援

中核人材育成研修の内容を掘り下げた、経営・マーケティング、人材・業務マネジメント等に係る長期研修を実施した。

(a) 「思いっきり財務研修」

内 容	知識だけではなく実践的な内容を取り入れ、財務に対する苦手意識の克服と金融機関との付き合い方まで幅広い内容を学ぶ
開催テーマ	第 1 回 令和元年 9 月 3 日 (火) 「財務分析と隘路の理解」 第 2 回 令和元年 9 月 4 日 (水) 「財務分析の正しい経営への活かし方」 第 3 回 令和元年 9 月 19 日 (木) 「徹底した資金繰りの理解とキャッシュフロー経営」 第 4 回 令和元年 9 月 20 日 (金) 「自社資金繰り分析とキャッシュフロー経営への活かし方」 第 5 回 令和元年 10 月 10 日 (木) 「財務析活用による具体的な成長戦略」 第 6 回 令和元年 10 月 11 日 (金) 「自社の成長戦略(投資の妥当性他)の描き方」 第 7 回 令和元年 10 月 25 日 (金) 「財務分析と隘路の理解」
場 所	山口県セミナーパーク (山口市)、翠山荘 (山口市)
参加者数	15 名

(b) 「人材・業務マネジメント研修」

内 容	チームメンバーを巻き込むスキル、自社で活かせる問題解決のスキルについて、実践的な内容により、実務の中での問題解決スキルを身に付ける
開催テーマ	第 1 回 令和元年 10 月 1 日 (火) 「忙しい人の報告連絡相談のスキル、ゲームで学ぶ報告・連絡・相談、コミュニケーションの基本」

	第2回 令和元年10月7日(月) 「たくらむミーティングの進め方、チーム演習」 第3回 令和元年10月8日(火) 「チーム演習、全体発表」 第4回 令和元年11月14日(木) 「改善の前に問題を見つけるスキル、問題を図解化で表現する」 第5回 令和元年11月15日(金) 「なぜなぜ分析の進め方、チーム演習、全体カンファレンス問題の分析」 第6回 令和元年12月5日(木) 「問題解決の実践手法、チーム演習、個人演習とまとめ」
場 所	翠山荘(山口市)
参加者数	10名

(c) 「経営・マーケティング戦略研修」

内 容	経営戦略の策定について、ステップを踏みながら進め、自社にて実践できる戦略策定手法を学ぶ
開催テーマ	第1回 令和元年9月24日(火) 「経営戦略、あるべき姿を定める」 第2回 令和元年9月25日(水) 「経営戦略、方針を作る①」 第3回 令和元年10月17日(木) 「経営戦略、方針を作る②」 第4回 令和元年10月18日(金) 「経営戦略とマーケティング、中間発表」 第5回 令和元年11月18日(月) 「マーケティング、マーケティングで決めるべきもの」 第6回 令和元年11月19日(火) 「マーケティング、マーケティング4Rと営業計画」 第7回 令和元年12月10日(火) 「まとめ」
場 所	山口県セミナーパーク(山口市)、翠山荘(山口市)
参加者数	7名

(ウ) 研修等受講費補助金

高度な知識・技術の習得に向けた研修等の受講費補助を行った。

・交付決定数 17社、32人

(エ) 展示会活用型人材育成

展示会展出を有力な経営戦略の一つと位置付け、展示会を活用した実践的な人材育成プログラムを策定・実施した。研修の実施は、ジャイロ総合コンサルティング㈱に委託し、全体研修と個々の展示会の性質に合わせた個別研修を実施した。

(a) 全体研修

内 容	展示会の活用方法、出展準備等
開 催 日	令和元年9月5日(木)
場 所	防長苑(山口市)
参 加 者 数	30名

(b) 個別研修

出展企業に対して、出展前、会期中、出展後の個別研修に加え、専門家や財団職員による指導を必要に応じて6回程度行った。

「危機管理産業展 2019」

会 期	令和元年10月2日(水)～4日(金)
実 施 場 所	東京ビッグサイト(東京都江東区)
出 展 企 業	4社

「第22回関西機械要素技術展」

会 期	令和元年10月2日(水)～4日(金)
実 施 場 所	インテックス大阪(大阪市住之江区)
出 展 企 業	3社

「ものづくりパートナーフォーラム」

会 期	令和元年11月7日(木)～8日(金)
実 施 場 所	TEPIA(東京都港区)
出 展 企 業	3社

「Japan Home & Building Show」

会 期	令和元年11月13日(水)～15日(金)
実 施 場 所	東京ビッグサイト(東京都江東区)
出 展 企 業	3社

「ギフトショー2020春」

会 期	令和2年2月5日(水)～7日(金)
実 施 場 所	東京ビッグサイト(東京都江東区)
出 展 企 業	3社

「機械要素技術展」(※新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模縮小)

会 期	令和2年2月26日(水)～28日(金)
実 施 場 所	東京ビッグサイト(東京都江東区)
出 展 企 業	4社

「FOODEX JAPAN2020」(※新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止)

会 期	令和2年3月10日(火)～13日(金)
実施場所	幕張メッセ(千葉市美浜区)
出展企業	4社

(カ) ものづくり×ITデザイン活用研修

IT・アプリの活用によるワークショップや、ものづくり・サービス産業の生産性向上のためのセミナー等を実施した。

<IT・アプリの活用等によるワークショップ>

開催日	テーマ/講師	参加人数
令和元年 10月17日(木)	ワークショップ「新事業創造プロジェクト」 講師 株式会社Solarus	14名
令和元年 11月14日(木)	代表/リードクリエイター 茄子川 導彦 場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)	14名
令和元年 11月21日(木)	ワークショップ「ホームページデザイン」 講師 株式会社Solarus	16名
令和元年 11月28日(木)	代表/リードクリエイター 茄子川 導彦	15名
12月5日(木)	場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)	19名
令和元年 12月12日(木)	ワークショップ「ホームページワードプレス」 講師 株式会社Solarus	17名
12月19日(木)	代表/リードクリエイター 茄子川 導彦 場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)	15名

<生産性向上セミナー等>

開催日	テーマ/講師	参加人数
令和元年 8月23日(金)	テーマ 「働き方改革の取組みと生産性向上について」 講師 富士通株式会社営業人事部 宮尾 健史 場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)	20名
令和元年 9月13日(金)	テーマ 「社内システムをモバイル活用した業務効率化の事例」 講師 株式会社ジェネコム九州支社 久良木 健吾 場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)	10名

令和元年 10月4日(金)	<p>テーマ 「電子署名・電子印鑑による業務のペーパーレス化で生産性向上」</p> <p>講師 ドキュサイン・ジャパン株式会社 マーケティングディレクター 土肥 渉</p> <p>場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)</p>	11名
令和元年 11月15日(金)	<p>テーマ 「FAXの課題を解決することで生産性向上」</p> <p>講師 GMOクラウド株式会社下関支社 支社長 本廣 敏孝 株式会社エディックワークス 取締役 関 亮典</p> <p>場所 山口グランドホテル(山口市)</p>	13名
令和元年 12月11日(水)	<p>テーマ 「いままで見えなかったロスが、利益に変わる」</p> <p>講師 株式会社トーク 代表取締役 山本 徳太郎</p> <p>場所 やまぐち創業応援スペース「mirai365」(山口市)</p>	14名
令和2年 2月7日(金)	<p>テーマ 「DX時代に向けたAI・RPA活用の動向と事例」</p> <p>講師 富士通株式会社AIビジネス統括部 風越 直紀 株式会社富士通マーケティング ソリューションビジネス推進統括部 林 宏樹 (一社)EMOBIA 木下 泰孝</p> <p>場所 山口グランドホテル(山口市)</p>	25名

(5) やまぐちOB人材バンク事業

県内中小企業の研究開発力・技術力の強化や経営力・マーケティング力の向上等を促進するため、「やまぐち高度技術者・研究者OB等人材バンク」を開設し、専門知識や技術等を有するOB人材と、これら専門人材の支援が必要な県内企業のウェブサイト上でのマッチングに取り組んだ。

(ア) やまぐち高度技術者・研究者OB等人材バンクの登録や利用に係る広報活動

関係機関等への訪問

- ・県内大手企業 79回
- ・県内中小企業 59回
- ・関係機関 66回

セミナー、展示会等での広報

- ・参加回数 11回

リーフレットの作成

- ・事業紹介 3種、10,000部

- (イ) バンク登録及び利用企業への支援
 - ・OB等人材登録支援数 30回
 - ・利用中小企業支援数 18回
 - ・OB等人材登録数 27人
 - ・利用中小企業登録数 18社
- (ウ) コーディネータによるマッチング支援
 - ・マッチング数 2件
 - i) 支援希望内容：HACCP衛生管理方法の指導等
支援職種：食品衛生管理
 - ii) 支援希望内容：旋盤加工技術の向上
支援職種：旋盤加工指導

5 設備投資の支援

ア 設備貸与事業

(1) 小規模企業者等設備貸与事業

資金調達力の脆弱な小規模企業者等の創業又は経営革新等を支援するため、小規模企業者等が必要とする設備の貸与（割賦及びリース）を行った。

前年度の実績(7企業、102,250千円)を大幅に下回った。景気の先行き不透明感の高まりにより設備投資を控える企業が多く、特に高額案件の多い機械金属製造業は、わずか1件であった。

(ア) 申請及び決定状況 (単位：千円)

		合 計	内 訳	
			割 賦 事 業	リ ー ス 事 業
申請	企業数	7	7	—
	金 額	47,376	47,376	—
決定	企業数	6	6	—
	金 額	42,728	42,728	—

(イ) 業種別決定状況 (単位：千円)

	割 賦 事 業		リ ー ス 事 業		合 計	
	企業数	金 額	企業数	金 額	企業数	金 額
製 造 業	5	35,860	—	—	5	35,860
サービ 業	1	6,868	—	—	1	6,868
合 計	6	42,728	—	—	6	42,728

(2) 新事業活動支援設備貸与事業

中小企業者等の創業又は経営革新を支援するため、中小企業者等が必要とする設備の貸与（割賦及びリース）を行った。

前年度の実績（7企業、200,000千円）を大幅に下回った。景気の先行き不透明感の高まりにより設備投資を控える企業が多く、高額案件の多い機械金属製造業は1件もなかった。

(ア) 申請及び決定状況

(単位：千円)

		合 計	内 訳	
			割 賦 事 業	リース事業
申請	企業数	2	2	—
	金 額	24,840	24,840	—
決定	企業数	2	2	—
	金 額	24,840	24,840	—

(イ) 業種別決定状況

(単位：千円)

	割 賦 事 業		リース事業		合 計	
	企業数	金 額	企業数	金 額	企業数	金 額
製 造 業	2	24,840			2	24,840
サービス業	—	—			—	—
合 計	2	24,840			2	24,840

(3) 旧設備資金貸付事業等に係る債権管理

平成26年度まで貸付けを実施した設備資金貸付制度等に係る債権管理を行った。
また、中小企業設備近代化資金に係る償還事務も行った。

- ・債権管理案件数：43件
- ・償還事務案件数：3件

6 創業及び事業化の促進

ア 製品等の評価(目利き)に関する事業

(1) やまぐちビジネスプラン評価推進事業

新規事業展開や新商品・技術・サービスの開発を行う中小企業者、創業予定者のビジネスプランを、経営実務家を中心とした外部委員会において審査・評価を行い、その委員会で高い評価を受けた企業に対し、販路拡大等のための各種支援を実施した。

(ア) 山口県ビジネスプランコンテストの開催

開催日：令和元年6月7日(金)

会 場：やまぐち創業応援スペースmirai365(山口市米屋町2-7)

参加者：8社

受賞者：最優秀賞 株式会社YOODS

優 秀 賞 株式会社Celestiale

キッコウ・ジャパン株式会社

特 別 賞 株式会社シンラテック

(イ) 支援の実施

各受賞者には、新商品等の開発や販路開拓にかかる経費に対して、最優秀賞に30万円、優秀賞に15万円、特別賞に10万円をそれぞれ助成した。また、各受賞者は令和元年10月26日(土)に麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターで開催された「やまぐち産業維新展」に出展した。

コンテストの入賞者は、令和元年10月7日(木)に福岡国際会議場で開催された「KVM(九州・山口ベンチャーマーケット)」にブース出展した。最優秀賞を受賞した「株式会社YOODS」及び優秀賞を受賞した「有限会社Celestiale」は、山口県を代表してビジネスプランを発表した。

イ 創業・事業化支援コーディネーター事業

(1) 県内創業・事業承継促進事業

(ア) 創業マッチングコーディネーター配置業務

(a) 創業マッチングコーディネーターの設置

創業マッチングコーディネーター2名を配置し、市町や商工団体との連携のもと、移住創業等の創業希望者に対する伴走型支援を実施した。

(b) 県内出張相談会の開催

創業・継業案件の掘り起こしや、第三者承継(継業)について意識啓発を図るため、県内出張相談会を21回開催した。

(c) 県外(東京23区及び大阪市内)出張相談会の開催

移住創業等の創業・継業案件を掘り起こすため、やまぐち暮らし東京支援センターや山口しごとセンター等と連携し、県外出張相談会を14回開催(東京12回、大阪2回)した。

(イ) やまぐち創業マッチングサイト構築等業務

多様な形態(継業、副業、テレワーク、シェアリングエコノミー等)での創業を促進するため、全国の創業希望者等が、県内の事業譲渡希望者等の持つ経営資産を直接検索できるマッチングサイトの構築を行なった。

- ・サイト公開、運用開始：令和2年3月16日(月)
- ・登録件数 譲渡希望：2件、承継希望：2件
- ・マッチング件数：0件

(ウ) 創業総合ポータルサイトシステム運用・保守管理及びデータ、コンテンツ管理業務

創業に関する知識や行政・支援機関の支援情報、創業者の情報など創業に関する様々な情報を、一元的かつ体系的にわかりやすく発信する創業総合ポータルサイト「創業の窓」の保守管理及びデータ、コンテンツ等の管理を行い、最新の情報提供を行った。

(エ) やまぐち創業魅力発信動画サイト制作業務

山口県への移住創業や県内創業を喚起するため、山口県の特有の創業支援策等の魅力を紹介するプロモーション動画を制作し、県内外の潜在的創業希望者に向け配信した。

(オ) 首都圏在住者向け創業セミナー実施業務

山口県での創業メリットの売り込み等により、県外在住者による山口県での創業・継業（第三者承継）等を促進するため、支援機関と連携し、首都圏在住者向け創業セミナーを開催した。

開催場所	開催日	個別相談者数
東京・goodoffice 有楽町（東京都）	令和元年7月20日（土）	5
東京交通会館ビル会議室（東京都）	令和元年11月2日（土）	5
合 計		10

(カ) 外国人材創業促進セミナー実施業務

地域活性化に向けた多様な創業支援の観点から、外国人材による県内創業を促進するため、県内支援機関と連携し外国人留学生等に対し、創業支援策や創業事例の紹介を実施した。

セミナー	開催日	参加者	会場
第11回留学生と企業経営者との交流会 DISCOVER YAMAGUCHI 主催：山口大学・山口県・西京銀行	令和元年 12月14日 （土）	5	ホテルかめ福 （山口市）

(キ) 事業承継に係る意識啓発促進業務

(a) 事業承継セミナーの実施

県内の中小企業者等を対象として、事業承継をした人による体験談や中国税理士会山口県支部連合会による事業承継税制等の制度の説明、山口県事業引継ぎ支援センターと県からの支援制度の説明など、事業承継（特に第三者承継）に関するセミナーを開催し、事業承継についての意識啓発を図った。

セミナー終了後は、個別相談を実施し、個別の事業者への対応も行った。

セミナー開催場所	開催日	参加者	相談会
翠山荘（山口市）	令和元年11月14日（木）	4	0
シンフォニア岩国（岩国市）	令和元年11月15日（金）	7	2
萩・明倫学舎（萩市）	令和元年11月19日（火）	5	1
海峡メッセ下関（下関市）	令和元年11月21日（木）	9	2
ヒストリア宇部（宇部市）	令和元年11月25日（月）	5	0
ホテルサンルート徳山（周南市）	令和元年11月26日（火）	11	2
合 計		41	7

(b) 事業承継アンケート調査の実施

県内中小企業を対象として、事業承継についての意識や取組状況等についてアンケート調査を実施し、事業承継についての意識の啓発を図った。

(c) 「第三者承継のすすめ」の作成

県内で事業承継（特に第三者承継）して創業した創業者（5名）を取材し、第三者承継の実現までの課題や流れ、ポイント等をまとめた事例紹介冊子「事業承継のすすめ」を2,000部発行し、第三者承継に向けた事業者や創業希望者等への啓発を促した。

(ク) 女性創業促進事業

創業意欲のある女性に対して、経営能力向上、ビジネス応用の観点からスキルアップに必要な知識の取得と人的ネットワークの構築のためセミナーを実施した。

(a) プレセミナー

開催日	場 所	参加者数
令和元年7月4日(木)	萩明倫学舎（萩市）	12名
令和元年7月10日(水)	和 咲良（宇部市）	18名
令和元年7月31日(水)	徳山駅前賑わい交流館（周南市）	25名
令和元年9月4日(水)	山口県健康づくりセンター（山口市）	31名

(b) 女性創業セミナー

令和元年9月10日（火）から令和元年12月10日（火）まで、山口会場・宇部会場合わせて18回開催した。

参加者 山口会場 30名（うち修了24名）

宇部会場 15名（うち修了12名） 計45名（うち修了36名）

講 師 中小企業診断士 小倉 綾

有限会社インテリジェントパーク 代表取締役社長 荒添 美穂

フラウツール 代表 阿須賀 芳恵 ほか

(c) 実践的女性創業セミナー

・参加者 27名（うち修了14名）

開催日	講師	カリキュラム	場 所
令和元年 6月22日(土)	喜多埜 裕明	スマート社会 Society5.0	山口県立大 学
令和元年 6月28日(金)	小西 圭介	ソーシャル時代のブランドコミ ュニティ戦略	山口大学
令和元年 6月29日(土)	渡邊 将志	関係者を巻き込むコミュニケー ション・合意形成力	山口大学
令和元年 7月5日(金)	熊谷 裕平	組織とリーダーシップ	山口大学

令和元年 7月6日(土)	大野 修平	企業法務とリスクマネジメント	山口大学
令和元年 7月12日(金)	渡邊 将志	アカウンティング<財務諸表と 会計>	山口大学

(d) 女性創業応援ミーティング

山口県内の先輩女性創業者による創業体験談や、行政・支援機関等による支援メニュー紹介のほか、参加者同士で情報発信・情報交換をすることにより、今後のビジネス展開の促進や創業機運の醸成を図るため、女性創業応援ミーティングを開催した。

会場	開催概要	参加者数
周南会場	日時：令和2年1月17日(金) 場所：オレンジカフェ 講師：岡田 くみ子、柴田 さちこ	16名
山口会場	日時：令和2年1月19日(日) 場所：菜香亭 講師：杉山 裕子、西村 結花	13名
萩会場	日時：令和2年1月27日(月) 場所：萩ゲストハウス ruco 講師：阿野 道子、中原 昌代	8名
下関会場	日時：令和2年2月6日(木) 場所：アン・シャーリー清末店 講師：岡 孝子、春日 朋子	15名

実施内容：①先輩女性創業者による創業体験談の講話

②参加者による情報発信・情報交換

③行政・支援機関等による支援メニューの紹介

参加者数：のべ52名（各会場合計）

対 象：女性創業者、創業を考えている女性など

(k) クラウドファンディング活用促進事業

(a) 助成金交付

クラウドファンディングを活用して新商品開発や技術開発に向けての資金調達を行う創業者等を対象とする助成事業を実施した。

・交付実績なし

(c) やまぐち創業応援スペース「mirai365」の運営

(a) やまぐち創業応援スペース「mirai365」の運営

創業者が有する多様なニーズに対応するため、「チャレンジモール」「コワーキングスペース」「シェアオフィス」「多目的スペース」「カフェスペース」を一体的に提供し、創業希望者や創業者に対し、2名のインキュベーションマネージャー等を延べ142日配置し、施設入居者及び施設利用者(相談者)に対して、

経営ノウハウや販路の獲得、ネットワーク構築等に係る相談・指導対応を延べ151件実施した。

(b) 付帯イベントの実施

創業への関心や機運を高め、創業希望者の掘り起こしや視野拡大及び業務連携によるパートナーシップの確立や連携強化を図るため、オープンセミナーを7回開催し、延べ462名が参加した。

また、創業者や創業希望者等の交流を通じた創業や新たな事業展開を促進するためのセミナーを11回開催し、延べ153名が参加した。

(c) やまぐち創業補助金

新たな事業の創出の促進及び地域課題の解決を通じた地方創生を実現するため創業に係る経費を補助する補助金を創設し、新規創業者の支援を実施した。

- ・支援者数：12事業者
- ・総補助金交付決定額：19,487千円

<補助金交付状況>

創業者名	所在地	事業概要	交付決定額(千円)
西村 一彦	長門市	長門市油谷の棚田で栽培したフレッシュハーブを使用したクラフトジンの製造・販売と「香りのまち」づくり	1,571
國本 俊雄	光市	超高齢社会に対応した歯科医療提供のためのかかりつけ歯科・訪問歯科医院の開設	1,622
坂田 修作	岩国市	農家民宿「和楽の里」における農家林業体験民宿、高付加価値農産物の生産・提供・販売、山林の有効活用をした里山ライフモデル構築事業	1,265
西村 妙子	防府市	身体のことや病気のこと、暮らしのことなど気軽に訪れて相談できるカフェ（田舎の保健室）の運営事業	2,000
山田 豊佳	山口市	山口県の特産品・調味料を挟んだコッペパンの店舗販売及び屋台による移動販売	2,000
原田 尚美	山口市	山口市の特産果実である「徳佐りんご」を原料とする発泡性果実酒(シードル)の醸造・販売・運営	962
菅野 弘和	下関市	赤間神宮傍の訪日外国人観光客をメインターゲットとした日本茶カフェ運営事業	1,590
後藤 麻理子	山口市	「地産・地消」の美味しさを広げるため山口県産品を使用したパンの販売事業	2,000
八代谷 寿子	宇部市	吉部米と地元野菜を使った「野菜ソムリエ」プロデュースのおにぎり弁当販売事業	1,337

河村 和治	周南市	健康寿命の延伸や地域活性化に向けた卓球教室の運営及び介護施設等を対象とした卓球プログラムの提供	2,000
清水 敦也	山口市	税理士による会計キャリア教育と事業承継支援	1,140
岩崎 喜美弥	柳井市	地元の竹材・木材を使った竹炭・木炭の製造・販売	2,000
合 計			19,487

(2) ふるさとやまぐち起業家づくり支援事業

県内在住者及びUターン者等で起業化(新たに事業を開始しようとする)を志す者を対象に、当財団から委嘱を受けた者が、起業家に対して支援を行った。

<事業内容>

- ・起業家支援アドバイザーを金融機関の本支店(30ヶ所)に配置した。
- ・企業経営等に関する豊富な知識を有し、かつ相談能力の高い者の中から金融機関の推薦に基づきアドバイザーを委嘱した(委嘱者：30名)

<支援実績>

- ・相談受付件数：133件　うち相談終了件数：122件
(融資実行：596,938千円)
(相談継続件数：9件)
(取り下げ件数：2件)
- ・起業による雇用創出人数
雇用者数：282人(起業者自身を含む)うち U J I ターン起業者：2人

(3) 創業補助金フォローアップ事業

平成24年度から平成28年度まで実施した創業補助金(新たな需要を創造するビジネスを興す者の創業費用の一部を補助し、新規創業者等の創出を促進とした事業)交付後の適切な運営・管理を行った。

- ・50事業者から事業化等状況報告書を受領

ウ 中小企業等投資支援事業

(1) ベンチャー企業支援事業

(ア) 投資企業育成支援事業

ベンチャーキャピタルと連携し、投資先の管理と支援を実施した。

(イ) V B 債務保証事業

創造的中小企業創出支援法に基づき、創業段階のベンチャー企業や創造性ある新規事業へ展開する中小企業の育成を目的に、金融支援投資を実行してきた。

- ・回収状況

過去の代位弁済3件に対する求償権回収額は、1,680千円である。今後も引き続き回収の予定である。

(2) ファンド投資支援事業

成長が見込まれる地場中小企業や立地企業の新事業展開を支援するため、「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の投資による支援を行った。

※過去の投資先の管理を行った。

7 販路開拓の支援

ア 下請取引あっせん事業

(1) 下請取引あっせん事業

取引に関する相談に対応し、親企業による不当な取引を防止、抑制するとともに、下請取引のあっせん等を通じて、県内中小企業の技術面、経営面のレベルアップ、経営者の意識改革等を図り、高い技術力等が要求される付加価値の高い発注企業との取引の活性化を促進した。

(ア) 登録の推進

登録企業の状況

区 分	前年度までの累計	令和元年度		合計	うち県外数
		登録	抹消		
発注企業	460	0	0	460	70
受注企業	820	6	1	825	13
計	1,280	6	1	1,285	83

(イ) 下請取引あっせん状況

取引あっせん状況

区 分	合 計	うち県外数
あっせん件数	406	361
あっせん結果	成 立 件 数	143
	不 成 立 件 数	235
	折 衝 中	590
契約成立当初の金額(千円)	1,581,981	1,280,981

業種別取引あっせん成立状況

業 種	件 数	当 初 成 立 金 額(千円)
食 料 品 製 造	54	48,293
金 属 製 品 製 造 業	32	87,912
一 般 機 械 器 具 製 造 業	26	541,939
電 気 機 械 器 具 製 造 業	11	236,168
そ の 他 製 造 業	20	667,669
計	143	1,581,981

(ウ) ブロック別下請問題情報連絡会議の開催及び参加

取引あっせん支援の円滑化を図るため、ブロック別下請問題連絡会議に参加し、中国経済産業局及び各県の下請支援機関との情報交換を行った。

(エ) 発注企業情報収集提供事業

県内外の発注企業72社を訪問し、発注開拓活動を積極的に展開するとともに、下請中小企業を訪問して下請企業が直面している新規取引先の開拓等の相談に対応した。

(オ) 広域商談会開催事業

<ニーズ調査>

調査時期	調査対象企業数	回答企業数	発注希望企業数	商談会出席希望企業数
8月	1,261社	155社	28社	49社

<商談会>

商談会名	広域商談会
期 間	令和2年1月28日(火)
場 所	山口グランドホテル(山口市)
目 的	県内外の発注企業のニーズを把握し、商談会を開催することで、県内下請企業のPR・受注拡大を図ることを目的とする
参加企業数	発注企業 20社 受注企業 40社
成 果 等	商談件数 245件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

商談会名	中国ブロック合同商談会
期 間	令和元年9月12日(木)
場 所	山口グランドホテル(山口市)
目 的	中国ブロック5県が合同で商談会を行うことで、より多くの発注企業と商談する機会を設け、下請企業の受注拡大を図ることを目的とする
参加企業数	発注企業 59社 受注企業 30社(山口県企業)
成 果 等	商談件数 105件(山口県企業) 商談成立件数・金額 4件・12,336千円(山口県企業)

(カ) 個別商談会等開催事業

発注企業に県内中小企業が参集しての商談会と企業の要望により、発注企業同行し、県内中小企業を訪問しての個別商談会を開催した。

商 談 会 名	個別商談会
開催場所・回数	県外発注企業訪問商談会 1回 県外発注企業を県内企業に同行しての商談会 5回
目 的	発注企業のニーズに応えるため、及び県内企業の販路開拓のため商談会を開催した
参加企業数	発注企業 7社 受注企業 12社
成 果 等	商談件数 12件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

(キ) 下請取引適正化の推進

講 習 会 名	下請中小企業取引条件改善講習会
開 催 日	令和元年 11月 26日 (火)
場 所	セントコア山口(山口市)
講 師	猪俣俊雄法律事務所 弁護士 猪俣 俊雄
目 的	下請取引の適正化の推進
参加企業数	45名
成 果 等	契約書の重要性や必要性及び下請代金法について学び、取引の適正化への認識が高まった

(ク) 下請かけこみ寺

下請代金法や中小企業の取引問題に詳しい相談員を配置し、中小企業者の取引に関する様々な悩み等に対し、適切なアドバイスを行った。

(ケ) 調査及び情報の収集・提供

<各種調査>

名 称	調査研究目的	調査時点	備 考
発注ニーズ調査	取引あっせん	8月1日	対象企業数 1,261社
受注企業実態調査	取引あっせん	10月1日	対象企業数 664社
企 業 訪 問	情報収集提供等	随 時	

<情報提供>

名 称	備 考
山口県企業ガイドブック	(配布先)県内外の発注企業

(ロ) やまぐち新技術研究会

山口県圧電デバイス研究会で培った販路開拓を見据えた製品開発ノウハウを基に、新たなプロジェクト、製品開発を行うため、やまぐち新技術研究会を立ち上げた。

名 称	開 催 日	場 所	参加者
第1回研究会	令和元年 9月 4日(水)	山口市	9社 15名
第2回研究会	令和 2年 2月20日(木)	山口市	11社 18名

イ 販路開拓・販路拡大促進事業

(1) 環境関連製品販路開拓事業

県内で製作されているリサイクル製品などの環境関連製品を関西・中京圏での販路を開拓するため、やまぐちエコ市場と共同で、関西・中京圏でのマッチング事業等を開催した。

<展示会への参加>

展 示 会 名	第22回びわ湖環境ビジネスメッセ2019
期 間	令和元年10月16日(水)～18日(金)
場 所	長浜バイオ大学ドーム(滋賀県長浜市)
目 的	県内中小企業が開発・保有している優れた環境関連製品・技術の関西・中京圏での販路開拓を図る
参 加 企 業 数	3社
成 果 等	来場者数 25,610名 見積依頼 3件 商談継続中 5件

(2) 販路開拓支援事業

地域中小企業の振興を図ることを目的に、自社製品・技術等の販路開拓を行うため、来場者が多く、注目度の高い展示会への出展を促し、販路拡大を支援した。

展 示 会 名	第54回スーパーマーケット・トレードショー2020
期 間	令和2年2月12日(水)～14日(金)
場 所	幕張メッセ(千葉市)
目 的	県内中小企業の地域資源活用・農商工連携製品のPRと販路の更なる拡大を図る
参 加 企 業 数	35社
成 果 等	見積依頼 621件 来場者数 80,428名 商談成立件数・金額 フォロー調査中

(3) 航空機・宇宙機器産業参入促進事業

県内の優れた技術を有する企業のグループ化を図り、成長が期待される先端産業において、付加価値の高い大型案件を受注できる体制を整備することにより、地域経済を牽引する中堅企業を輩出し、雇用創出を図るための支援を行った。

(ア) J I S Q9100認証規格取得状況

山口県航空宇宙クラスターに新規加入した企業1社が認証規格取得中。

(イ) 航空会議議の開催

開催日	場所	参加者数	内 容
平成31年 4月22日（月）	山口市	4社 8名	・平成31年度事業の説明
令和元年 6月26日（水）	山口市	5社 9名	・展示会出展について ・海外展示会・視察について
令和元年 10月8日（火）	山口市	6社 10名	・展示会出展について ・受注獲得システムについて
令和2年 3月6日（金）	山口市	4社 8名	・令和元年度事業の振り返り ・令和2年度事業について

(ウ) 展示会への出展

展 示 会 名	Small satellite Conference2019
期 間	令和元年8月5日(月)～8日(木)
場 所	ユタ州立大学(アメリカ)
目 的	山口県航空宇宙クラスターの航空宇宙分野への進出を図る
参 加 企 業 数	4社
成 果 等	商談件数 270件、見積依頼5件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

展 示 会 名	第57回飛行機シンポジウム
期 間	令和元年10月16日（水）～18日（金）
場 所	海峽メッセ下関
目 的	山口県航空宇宙クラスターの活動を広く県民に広める
参 加 企 業 数	4社
成 果 等	JAXAの開発担当者と山口県航空宇宙クラスター企業との開発に関するマッチングを行う打ち合わせや大手航空機部品メーカーと今後の取引に繋がる来場者があった。

展 示 会 名	やまぐち産業維新展
期 間	令和元年10月26日(土)
場 所	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
目 的	山口県航空宇宙クラスターの活動を広く県民に広める
参 加 企 業 数	6社
成 果 等	県民や高校の先生や生徒等に山口県で航空宇宙分野へ進出するための活動を広めることができた

展 示 会 名	第63回宇宙科学技術連合講演会
期 間	令和元年11月6日(水)～8日(金)
場 所	アスティ徳島(徳島県)
目 的	山口県航空宇宙クラスターの航空宇宙分野への進出を図る
参 加 企 業 数	5社
成 果 等	商談件数 179件 見積依頼2件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

(エ) 助成金交付状況

・総助成金交付実績額：1,707千円

(単位：千円)

助成対象者	内 容	交付実績額
株式会社ひびき精機	山口県航空宇宙クラスター旅費助成金	271
株式会社伸和精工	山口県航空宇宙クラスター旅費助成金	46
株式会社アクシス	山口県航空宇宙クラスター旅費助成金	51
株式会社黒磯製作所	山口県航空宇宙クラスター旅費助成金	291
株式会社オーネックス 山口工場	山口県航空宇宙クラスター旅費助成金	34
富士高压フレキシブル ホース株式会社	認証資格取得助成金	1,014
計		1,707

(オ) やまぐち産業イノベーション促進補助金助交付状況

・総助成金交付実績額：29,751千円

(単位：千円)

助成対象者	テーマ	交付実績額
株式会社伸和精工(代表申請者) 株式会社アクシス 東京大学	アディティブ技術の活用による 小型衛星部品の研究開発	15,000

株式会社アクシス（代表申請者） 株式会社ひびき精機 株式会社伸和精工 RyuTeC株式会社	液体式小型ロケット空中発射事業に於ける発射装置の研究開発	14,751
計		29,751

(4) 海外展開総合支援事業

(ア) 海外展開支援拠点整備事業

(a) コーディネータの配置

海外販路開拓コーディネータを2名配置し、県内中小企業の事業展開の段階に応じたアドバイスを行い、助成金申請指導や、展示会出展に向けてのPR、展示会や商談会への参加企業のサポートを行った。

また、企業からの相談対応や企業訪問を行い、海外展開に向けた計画（基本方針）の策定・ブラッシュアップを行った。

(イ) 海外展示会等への出展

展 示 会 名	FoodJapan2019
期 間	令和元年10月31日(木)～11月2日(土)
場 所	シンガポール
参 加 企 業 数	5社

展 示 会 名	METALEX2019
期 間	令和元年11月20日(水)～11月23日(土)
場 所	タイ（バンコク）
参 加 企 業 数	3社及び公益財団法人しまね産業振興財団

(ウ) 展示商談会プロモート

(a) FoodJapan2019（シンガポール）展示会プロモート事業実施業務

FoodJapan2019出展に際し、テストマーケティング、展示会サポート（当日及び後日）、展示会前後の商談会アレンジ、商談後のアフターフォローを実施した。

(b) 中国地方5県共同のネットワーキングイベント運営業務

タイ・バンコクにおける中国5県企業の販路開拓やネットワークづくりを目的とし、METALEX初日(11/20)に実施したセミナーや商談会等の準備及び当日の運営を実施した。

(エ) 個別支援事業

海外販路開拓に要する経費の一部を助成することを目的とした、海外販路開拓支援助成金制度を制定、運用し、同助成金を申請企業に対し交付した。

- ・ 交付企業数 12社 交付金額 3,828,000円
- ・ 成約件数 29件 成約金額 約 196,583,000円

支 援 内 容	企業数	取引件数
FoodJapan2019出展	5	12
METALEX2019出展	3	34
海外販路開拓支援助成金	12	75
CDによる個別支援	2	2
計	22	123
(再掲)助成金除く計	10	48

(5) 中小企業スマートビジネス推進事業

(ア) カンファレンスチームの設置・運営

経営革新計画の承認を受けた者の中から企業の事業拡大と雇用の創出・拡大の可能性ある企業70社に対して、専門家を含めたカンファレンスチーム結成し、Web会議も取入れ、経営革新計画のテーマに沿った支援シナリオ作成支援を実施

(イ) 各種補助金による支援

(a) 先進モデル創出補助事業

種 類	件数	執行額
製品等高付加価値化	37 件 (15 件)	45,338 千円 (16,664 千円)
企業間新結合促進	1 件 (0 件)	269 千円 (-)
EC 戦略等促進	30 件 (1 件)	12,989 千円 (500 千円)

※ () 内は製造業

(b) スマートワーク導入補助事業

種 類	件数	執定額
スマートワーク導入	2 件	2,000 千円

(ウ) 売り込み支援

(a) 展示会出展支援

時 期	展示会	出展社数
令和元年 8月21日(水) ～23日(金)	<p>ジャパンインターナショナルシーフードショー(東京ビッグサイト)</p> <p>[内容] 海面・陸上養殖機器・技術、IoT等を使用した水産機器などの出展を中心に、オール水産で水産業全体に寄与する国内最大の水産見本市</p> <p>[成果] 名刺交換：343件、見積依頼：171件、成約件数：35件、成約金額：29,800千円</p>	4社

令和2年 2月12日(水) ～14日(金)	スーパーマーケット・トレードショー(幕張メッセ) [内容] 日本最大級の食品流通・小売業の展示会 [成果] 名刺交換: 819件、見積依頼: 139件、 成約件数: 0件、成約金額: 0円	8社
-----------------------------	---	----

(b) 商談会出展支援

商談会名	時期	場所	参加社数	内容
第23回 買いませ! 売 れ筋商品発掘市	令和元年 11月14日 (木)	大阪府立 体育会館	4社	百貨店、スーパーなど大手小 売業者のバイヤーが構えるブ ースで直接商談を行う [成果] 当日商談件数 : 17件

(c) 新商品等販路開拓支援

新商品等の販路開拓を効率的に推進するため、県内企業13社が販路拡大を
図ろうとしている製品等について、専門家が主体となり、必要とする情報の収
集や製品特性の訴求、環境分析や戦略策定等のマーケティング活動、販路開拓
活動(EC分野)の支援を行った。

(d) メディア広報支援

県内企業8社に対して、専門家によるWeb、専門誌等への戦略的メディア広
報支援を実施した。

(e) IoTロードマップ作成

事前ヒアリングで導入効果が高いと認められたモデル企業10社の事例を参考
に、業種や取組内容毎に、導入効果やポイント、必要な工程を時系列にまとめた
モデルロードマップを作成し、IoT等を活用した生産性向上の取組着手への啓発
を行った。

(f) 生産性向上簡易診断

県内中小企業30社に対し、企業の生産性に関する現状の診断や生産性向上に
向けた方策の提示等により、生産性向上に関する意識改革や実際の取り組みへの
着手誘導を行った。

(g) やまぐちアクセラレータプログラムによる支援

新たな事業活動により短期間で大きな成長が見込める企業で且つ、やまぐちア
クセラレータプログラムによる支援を希望する県内企業から10社(サービス業
等5社、食品5社)を選定し、企業の成長を加速させることを目的としてアクセ
ラレータ(大手コンサルタント等)を活用した商品等開発から商談まで集中的な
支援を行った。

- ・マッチング件数 83件
- ・成約金額 12,000千円

(キ) 生産工程・サービス工程の効率化

(a) スマートツール導入サポーター派遣制度

I o T、A I、電子決済等の事業の効率化・省力化を促進するシステムやソフトウェア（スマートツール）の導入を検討する県内企業 100 社に対し専門家（スマートツール導入サポーター）が訪問し、導入に係る指導や助言を行った。

(b) I o T活用人材育成補助金

I o Tの分野に重点化した人材を育成するために、AI 活用実施講座を開催し受講料の補助を行った。

講座名	開催日	場所	参加社数	内 容
明日から使える AI 活用実践講座	令和 2 年 2 月 19 日 (水)	やまぐち創業 応援スペース mirai365	9 社 (10 名)	認知サービスプログラム言語 Python を利用した AI 活用術

(ク) その他事業の活用

	開催日	場所	参加社数	内 容
九州・山口ベンチャーマーケット	令和元年 10 月 7 日 (月)	福岡県	2 社	九州・山口各県のイチオシ企業 51 社を集めた展示・商談会、ビジネスプラン発表会
やまぐち産業維新展	令和元年 10 月 26 日 (土)	周南市	25 社	県内企業の情報を広く県民にアピールするとともに、県内企業の技術や取組等に親しむ機会を提供する総合産業イベント出展
クラウドファンディング Makuake (テストマーケティング)	—	Web	4 社	Makuake の活用によるテストマーケティング 目標達成 2 社 継続中 1 社 未達成 1 社

(6) やまぐち頑張る企業応援プロジェクト事業

公益財団法人全国中小企業振興機関協会から採択を受け、令和 5 年度までの複数年実施事業。地域の稼ぐ力と働く場を維持・創出し、経済の活性化を図るべく、地域資源活用を始めとする中小企業者等の新事業展開（新商品開発、販路開拓等）等の取り組みを支援した。

(ア) 高度人材育成事業

概 要	管理面・営業面の付加価値向上による新規取引先開拓を目的に、データサイエンティスト育成を行う。
実 施 内 容	研修委託先候補選定の事前調査を実施した。

(イ) グローバル産業人材育成事業

概要	海外展開による売上拡大を目的に、現地での市場調査を通して海外展開促進が可能な人材育成を行う。
実施内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響から予定していたセミナーの開催を延期し、次年度実施予定とした。

(ウ) 売上拡大事業

概要	店舗や商談・展示会等での売上拡大を目的に、出口を見据えた改良やプロモーションについての支援を行う。
実施内容	県外での販路を希望する食品製造業者4社を対象に、テスト販売を実施した。

8 技術研究開発等の支援

ア 新製品の研究開発等に関する助成等事業

(1) 中小企業活力向上促進事業

(ア) 事業化・販路拡大支援事業

県内企業の新たな事業展開を促進するため、新商品開発や事業化に向けた取り組みを支援した。

(a) やまぐち中小企業活力アップ補助金【スタートアップ枠】

- ・支援企業：6社
- ・総補助金交付決定額：7,458千円

補助金交付状況

(単位：千円)

補助対象者	テーマ	総事業費	交付決定額
ゼロジ株式会社	米（県内産山田錦）焼酎で作るコーヒーリキュール事業	2,904	1,451
中国電化工業株式会社	真空特性の高度化を目的とした陽極酸化被膜の開発	1,807	902
有限会社ロイヤル	海外需要に対応した世界基準をクリアするオリジナルブランドケーキの開発	2,978	1,190
株式会社ミヤハラ	マイクロセンサ製作用治具開発	3,042	1,500
有限会社ビーネクスト	自社考案の開閉式金具を使用した折り畳み可能な大型土のう作成機	1,834	915
アボンコーポレーション株式会社	鋳田籠技術を用いた環境保全型魚礁の開発	3,182	1,500
合計	6社	15,747	7,458

(b) やまぐち中小企業活力アップ補助金【小規模事業者枠】

- ・支援企業：5社
- ・総補助金交付決定額：4,426千円

補助金交付状況

(単位：千円)

補助対象者	テ ー マ	総事 業費	交 付 決定額
有限会社ちふりや工業	愛車水没ガードの試作品製作	907	483
有限会社山口ティール・エル・オー	新型細胞穿孔装置の開発と販路開拓	1,933	1,000
株式会社オムラ	『環境3Rリデュース・ゼロエミッション事業』廃塗料を有効活用した「多目的軽量プレート」の事業化推進～産学連携ならびに就労支援施設の活用～	1,828	996
株式会社日本フーズ	有機JAS認証の農産加工品の開発	1,868	1,000
Bar Coen.	ブリのオリーブオイル漬け(ブリキューブ)の製造・販売	1,423	947
合 計	5社	7,959	4,426

(c) やまぐち中小企業活力アップ補助金【知的財産活用枠】

- ・支援企業：4社 (5件)
- ・総補助金交付決定額：946千円

補助金交付状況

(単位：千円)

補助対象者	発 明 等 の 名 称	出願 費用	交 付 決定額
株式会社木原製作所	IoT化と海外展開を見据えた重量計測による乾燥制御方法の特許化	506	235
クマサキ洋ラン農園	鉢植胡蝶蘭集合体の実用新案	314	145
エムテックス有限会社	蒟蒻粒製造方法および蒟蒻粒製造装置に関する特許出願	380	166
株式会社シーパーツ	データ集計を可能とするタイヤ品質評価装置販売	676	200
	セラーへのサポート機能を有するオークションサイトの運営	671	200
合 計	4社 (5件)	2,547	946

(2) メカトロ技術センター運営事業

メカトロ技術センター(宇部市)の施設(建物、機器等)の管理、研究室の貸し付けを実施した。

・ 研究室の利用状況：入居企業 6社

利用企業名	利用期間	研究・開発等の内容
有限会社ハーモニーズ	平成24年4月 ～令和2年3月	産業用運搬設備のコントロールシステム等の研究
株式会社アトミテック	平成24年4月 ～令和2年3月	T V会議システムの開発
株式会社セルス中国環境資材	平成24年4月 ～令和2年3月	伐採木のリサイクル事業及び海洋河川環境事業に係る研究開発
有限会社優とぴあ	平成24年4月 ～令和2年3月	出張理美容専用機器の研究開発
中国コイケ株式会社	平成24年4月 ～令和2年3月	LED関連商品開発、電子機器の開発
多田電気管理事務所	平成28年6月 ～令和2年3月	デマンド監視装置の研究開発

(3) 債務保証事業

高度技術の研究開発を側面的にバックアップするため、研究開発に係る所要資金調達のための債務保証事業を実施してきた。

現在は、これまで債務保証した企業の育成支援と債務保証の管理を行っている。

9 技術交流・技術移転の促進

ア 知財活用支援事業

(1) 知財総合支援窓口運営事業

地域の中小企業の知的財産権の活用を図る中核機関として、専門人材を配置して中小企業が抱える知的財産権に係る悩みや課題を一元的に受け入れ、その場で解決するワンストップサービスを実施した。

実施内容	実施件数
相談受付	2,314 件
電子出願	18 件
知財専門家による支援	207 件
中小企業の発掘	274 件

(2) 中小企業等知財支援事業

企業、地域における現場ニーズへの対応や大学、公設試験研究機関、中小企業支援機関との連携による支援等を行うコーディネータを配置し、「山口県知的財産基本戦略」に掲げる中小企業における知財の活用を推進した。

(ア) 開放特許や未利用特許などの地域中小企業の技術移転を進める「中小企業知財コーディネータ」を配置した。

実施内容	実施件数
企業訪問	259 件
ライセンス契約等締結支援	21 件
開放特許等の個別案件紹介	47 件
知財に関する相談	187 件
外国出願支援事業申請案件の掘起こし	6 件

(イ) 地域における知財ニーズへの対応や各支援機関との連携による知財に関する支援を行う「地域連携知財コーディネータ」を配置した。

実施内容	実施件数
支援機関訪問	79 件
企業訪問件	329 件
知的財産権の出願支援	101 件
開放特許の個別案件紹介	1 件
知財に関する研修会等の開催	13 回
知財に関する相談	194 件

(3) 中小企業等外国出願支援事業

特許等の外国出願を行おうとする中小企業に対して出願費用を助成することにより、外国での知的財産にかかる戦略的なビジネス展開を図る支援を実施した。

・総補助金交付決定額：2,775千円

補助金交付状況

(単位：千円)

補助対象者	発明等の名称	出願国	出願費用	交付決定額
株式会社シーパーツ	「タイヤ劣化評価システム」	欧州	1,508	725
安原環境テクノロジー株式会社	「水中酸素溶解装置及びこれを用いた水中酸素溶解方法」	タイ王国	690	324
安原環境テクノロジー株式会社	商標「DO-MAX」	タイ王国	160	80

オオシマ自工株式会社	「拡幅機構とそれを備えた車両」	サウジアラビア、カタール	1,968	941
株式会社オクタニ	商標「OKUTANI Magic」	シンガポール、インドネシア他	422	203
株式会社サンライン	商標「Plasma Rise」	アメリカ合衆国、欧州、オーストラリア他	1,057	502
合 計	6 件		5,805	2,775

事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告に事業の詳細を記載しているため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書において、記載すべき事項が存在しないので作成していない。